

# — 西南学院大学 —

2月5日 人間科学部 英語

## 解答

I

(a) 4 (b) 1 (c) 2 (d) 3 (e) 2 (f) 2  
(g) 3 (h) 1 (i) 1 (j) 4 (k) 3 (l) 3

II

問 A

13 18 21 22

問 B

(a) 3 (c) 2 (d) 3 (f) 4

問 C

(b) 1 (e) 2 (g) 3 (h) 1

III

(a) 3 (b) 3 (c) 1 (d) 2

IV

(a) take→taken  
(b) badly→bad  
(c) has→had

V

(a) except  
(b) time  
(c) forced  
(d) itself

VI

(a) since  
(b) cheers  
(c) mean  
(d) minds  
(e) release

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)



早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

**解説**

I

(a) 4

worth Ving 「V する価値がある」

(b) 1

a fair division of～ 「～の公平な分担」

(c) 2

each は単数扱い。each member のようにセットになる名詞も単数形にする。選択肢 1 について、all の場合は members という複数形になるはずである。選択肢 4 について、the member とすると「一人の特定のメンバー」ということになるが、ここでは「グループ内の複数のメンバーたちの能力や限界」という趣旨なので the members というような複数形になる。

(d) 3

空所の後に名詞が続いているので他動詞に絞ることができる。discuss を入れると「旅の目的を話し合うことも重要である」となり、文意が通る。

(e) 2

send for～ 「～をとりにやる、呼びにやる、持ってこさせる」

(f) 2

keep track of～ 「～の経過を追う」

(g) 3

vital 「必要な、必須の」

(h) 1

anticipate～ 「～を予測する」

(i) 1

空所の後の it に注目して複数形になっている needs と tools を消去。equipment は「装備、設備」という意味。

(j) 4

weak spots とすると「脆くなっている部分」となる。tear はここでは「破れ目、ほころび」という意味。

(k) 3

Make sure (that) SV～.で「きっと～してください」という意味。選択肢 4 は〈To be sure [(that) your compass is in working order]〉.という構造になり、文の動詞が無く、文が成立しない。

(l) 3

fail to V 「Vしない、しそこなう」

II

問 A

13 18 21 22

11

第 1 段落第 1～2 文の「石油産業が汚染の最も大きな要因であり、ファストファッションは 2 番目である」という趣旨に反している。

12

第 1 段落第 4 文に反している。

13

第 1 段落第 8 文に合致している。

14

第 2 段落第 2～3 文に反している。

15

第 2 段落第 6～7 文に反している。

16

第 3 段落第 2 文は「このガス (N<sub>2</sub>O) は CO<sub>2</sub> の 300 倍、地球温暖化に影響を与える」という意味だが、選択肢の the production of nylon creates 300 times more nitrous oxide (N<sub>2</sub>O) than carbon dioxide(CO<sub>2</sub>) 「CO<sub>2</sub> の 300 倍の N<sub>2</sub>O を生み出す」というようなことは読み取れない。

17

第 3 段落第 4 文は「マイクロ繊維は、やがて食物連鎖を上っていき、私たちの皿の上に並ぶ魚によって食べられる」という意味だが、選択肢の microfibers are being used to produce plates 「マイクロ繊維は皿を作るために使われている」といった記載はない。

18

第4段落第2文に合致している。

19

第4段落第3文に反している。

20

第5段落第1文の *pollution and wasteful lifestyles have the greatest impact on the people who contribute to the problem the least* 「汚染と無駄の多い生活様式は、それらの問題に最も関わっていない人たちに大きな影響を与えてきた」に反している。

21

第5段落第2～5文に合致している。

22

第6段落第4文に合致している。

問 B

(a) 3

keep pace with～「～に遅れずについていく」

(c) 2

vast amounts of～「大量の～」

選択肢1について、下線部は「大量の資源」という意味であり、*fabric*「繊維」自体ではなく、*fabric*「繊維」を作る際に必要となる資源（本文では水が例として挙げられている）のことなので不可。

(d) 3

all but 「ほとんど」

(f) 4

the point of no return 「引き返せない段階」

問 C

(b) 1

at every turn 「いつも、いたるところで」

(e) 2

unpredictable 「予測不可能な」

(g) 3

make a difference 「改善する、効果がある、違いが生まれる」

(h) 1

下線部のあとが A with B という形になっているが、この形になる動詞は provide A with B 「A に B を与える」などの「与える」や、fill A with B 「A を B で満たす」などの「いっぱいにする」系統の動詞が多いこともヒント。また satisfy も with とともに用いるが、「～を満足させる、(要求など) を満たす」というニュアンスなのでここでは不適切。

III

(a) 3

Neither V S. 「S もまたそうでない」

(b) 3

further news 「続報」

(c) 1

much は不可算扱いであるため chairs とともに用いることはできない。many chairs といった形になる。no は weren't の not と否定語が重複するため不可。

(d) 2

catch O Ving 「O が V しているところを捕らえる」

IV

(a) take→taken

want O Vpp 「O が V されることを望む」

(b) badly→bad

smell は第 2 文型で用いることができるが C の位置に副詞である badly がきているため誤り。C の位置には名詞か形容詞が置かれるので bad にする。

(c) has→had

仮定法過去完了 If S had Vpp~, S would have Vpp... 「もし～していたら…したるうに」

V

(a) except

except that it's made from wax

except that SV 「SV するという点を除いて」

(b) time

about time he did something instead

It is (about / high) time SV (過去形) ～. 「(そろそろ/とっくに) SV している時間だ」

(c) forced

case of bad influenza forced me

a case of～ 「～の症状」

force O to V 「O に V させる」

(d) itself

prides itself on the fact that

pride oneself on～ 「～を誇りに思う」 = take pride in～

VI

(a) since

since～ 「～以来」

(b) cheers

cheer up～ 「～を元気づける」

(c) mean

I see what you mean. とすると 「あなたの言いたいことは分かる」 という意味になる。

(d) minds

mind～ 「～を気にする、嫌がる」

(e) release

release stress 「ストレスを発散する」

**その他の大学・学部の解答解説はコチラ！****増田塾 2019 解答速報ホームページ** 

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！